

A case of mesh erosion into the sigmoid colon following a total extraperitoneal (TEP) inguinal hernia repair

九段坂病院外科 山崎絢子

この度、the World Congress of Abdominal Wall Hernia Surgery (WCHS) 2024 において上記タイトルのポスター発表で参加させて頂きました。TEP 法による鼠経ヘルニア修復術の合併症として、腸管や膀胱へのメッシュ穿孔は非常に稀であり、国内外で 7 例の症例報告にとどまります。今回の発表を通じ、稀な合併症であるメッシュ穿孔に関する知見を得ることができました。一方、発症原因など未だ明確でない点もあり、さらなる研究が必要です。今後も症例の蓄積や長期的なフォローアップを行い、臨床に活かして参ります。

海外学会の経験は今回が初めてでしたが、世界の医療の発展のために集結した各国のエキスパートの発表を拝聴し、非常に身の引き締まる思いでした。自分も将来、少しでも医療の発展に貢献できるよう、精進して参ります。

最後になりましたが、今回スカラシップに採択頂き、このような素晴らしい経験ができました。日本ヘルニア学会に心より感謝申し上げます。